

授業科目及びその内容

【授業科目】

進学2年コース

[illegible]

進学1年6か月コース

[illegible]

【授業内容】

科目名	言語活動	到達目標
日本語（ⅠⅡ）	読む・聞く やり取り	日常生活や進学先の専門分野での具体的、抽象的な話題についての内容の大筋を理解できる。 やや高いレベルでの文法駆使能力があり、母語の影響による誤りも見られるが、ある程度正確にコミュニケーションを行うことができる。
毎日の日本語（ⅠⅡ）	聞く・書く・話す	共通語で普通のスピードで話されていれば、具体的なことでも抽象的なことでも、その内容をだいたい理解できる。 論拠、論点を展開して、エッセイやレポートを書くことができる。 熟達した日本語話者を相手に、普通の対話や関係が維持できる程度に対話できる。
プレゼンテーション（ⅠⅡ）	書く・発表	自分の興味関心について、予め効果的に伝えるための方法を考え、情報を発信することができる。 複雑ではないがある程度の結束性をもった文章を書くことができる。
地域社会（ⅠⅡ）	やり取り・発表	社会的属性が異なる相手でも配慮をしながら友好的に話や文字でのコミュニケーションを続けることができる。 社会に関心を持ち、積極的に関わることができる。
講義演習（ⅠⅡ）	聞く・書く・発表	やや複雑な講義でも、明確に組み立てられた講義なら理解でき、重要だと感じた点をノートに取ることができる。 聞き取った内容についての意見や考えを述べたり書いたりできる。
キャリアデザイン（ⅠⅡ）	書く・読む やり取り	志望校決定から入学まで進学に関わる手続きについての知識、語彙を知り、志望する進路に向けての準備を自律的に行うことができる。 進学先での留学生活がスムーズに送れるよう、より良いコミュニケーションの取り方を知り、実践することができる。
グループワーク	やり取り・発表	友達や周りの人を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、自然に対話できる。 自身およびメンバーの考えの違いがあったとしても、それぞれの役割を認識しながら集団を課題達成の方向に向かわせることができる。
試験対策（ⅠⅡ）	読む・書く・聞く	それぞれの目標・自身の能力を測定するためにさまざまな形式の試験を受けることを想定し、教師の解説を聞いて理解したり助けてもらったりという過程を経ながら、最終的には自身の現在の能力について客観的に認識し自律的に授業外でも必要な学習を検討していくことができる。
日本語基礎	読む・書く	日本の生活で必要なお知らせなどの情報を読み取り、生活に支障が出ないよう情報の内容を理解する。また、具体的で身近な内容の簡単な文、短い手紙やメールを書くことができ、読むことができる。学習項目を自ら定め、自律的に学ぶことができる。